



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより



ためし

子どもの真の姿から学ぶ

先日学校だよりで、

「したくないことに屁理屈をこねて」

しないでいいようにする子どもの「言い訳」について書きました。

この内容にいくつかの意見をいただきました。

おそらく心当たりがあったのだと思います。私も子育てをしてきた父親でもあります。学校だよりも、我が子のことを書いてきましたが、私は決して

「子育て優良父親」ではありません。

どちらかと言えば、

父親失格の部分が大きい

のではないかと反省しています。

我が子への申し訳なさと、家庭への応援歌として、時々この学校だよりも書いているのです。最近読んだ本に、

学校の疲弊は、保護者の重責を生む

というようなことが書いていました。

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



令和7年5月23日号 文責 上久木田 雄二

高度経済成長からの経済優先主義や学歴偏重社会は、学校依存社会を形成し、30年後の教員不足を招きました。

学校依存社会から抜け出す、第一歩が家庭教育力の復活でした。

家庭でのしつけを土台とする考え方

は、教育基本法にも書かれています。

では、家庭は30年の間に樂をしてきたのでしょうか。

そうではないと思います。現に私はこの30年間ずっと親をしてきましたから、肌感覚として理解しています。

家庭は樂をしようとしていないのに、子育ての難しさは増しました。いろいろな悩みを持つ親も増えたように感じています。

こんな世の中だからこそ、

一緒に困り感を共有する

ことが大切です。

子どもの現実を見つめ、率直に子どもの姿を語り合いませんか。子供の将来の伸びに必ずつながります。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

